

平成30年度 大分県産学官交流大会 平成30年度 第2回合同研究成果発表会

11月20日 (火)

◆主催◆大分県産学官連携推進会議
大分県産業科学技術センター
大分高等教育協議会／地域連携研究コンソーシアム大分
大学等による「おおいた創生」推進協議会
大分大学産学交流振興会

13:30 ~ 18:30

【会場】全労済ソレイユ 7階 アイリス(大分市中央町4丁目2番5号)

入 場
無 料

開会挨拶 13:30~13:45

基調講演 13:45~14:55

『日本発 空飛ぶクルマ'SkyDrive'の開発への挑戦』

有志団体Cartivator 代表 中村 翼



プロフィール

1984年生まれ、東京都出身。幼少の頃にフェラーリに憧れ、自動車エンジニアを志す。慶應義塾大学・大学院にて機械工学を専攻、理工学部創設者の藤原賞を受賞。2009年大手自動車会社に入社し、国内外の量産車設計に従事。その一方で、乗り物からもらった夢を引き継ぐべく、2012年に有志団体CARTIVATOR(カーティベーター)を設立。会社組織や世代を越えた人的ネットワークで、2020年東京五輪で空飛ぶクルマを使って聖火台に火をつけることを目指している。2017年からは慶應義塾大学大学院SDM研究科にて空飛ぶクルマの事業化研究も開始し、研究員を務める。

事例発表 15:10~17:10

●大分県産学官連携推進会議(産学官共同研究発表)

「ペットボトル開栓時の自助具開発」 特定非営利活動法人 ホビータイム 長瀬 あゆみ

●大分工業高等専門学校(研究発表)

「ドローン技術に対する機械からの視点と流体における渦干渉利用の可能性」

機械工学科 講師 稲垣 歩

●大分大学(研究発表)

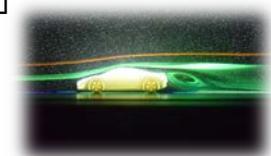
「内燃機関における最新の燃焼技術と課題」

理工学部 創生工学科 機械コース 教授 田上 公俊

●大分県産業科学技術センター(研究発表)

「産学官連携での電気機器開発支援」

電磁力担当 主幹研究員 池田 哲



懇親会 17:20~18:30 【会場】7階 カトレアA

※会場には、無料駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

※懇親会ではアルコールをご用意しますが、飲酒後の車の運転は

絶対におやめください。



懇親会費
(3,000円)

お申込みは、別紙の申込書にご記入後、FAX又はE-Mailにてお送りください。

お問合せ・お申込み先:大分県産学官連携推進会議事務局(担当/佐藤・三好・亀山)

TEL:097-537-2424 FAX:097-534-4320 E-Mail:san-gaku@columbus.or.jp

発表者 【タイトル】	事例発表概要
NPO法人 ホビータイム 長瀬 あゆみ 【ペットボトル開栓時の自助具開発】	障がいのある方の自立支援を目指して事業活動する中で、障がいの有無などに捉われず、誰もが自分一人で使うことのできる製品の必要性に気付いて、自助具開発を行うようになった。 平成28年度から、誰もが簡単に使えるペットボトルオープナーを研究、開発し、商品化を進めている。地域内の障害福祉サービス事業所と連携して商品の組立加工のコストダウンを図るとともに、障がいのある方の工賃向上を目指す。
大分工業高等専門学校 稲垣 歩 【ドローン技術に対する機械からの視点と流体における渦干渉利用の可能性】	近年、テレビ番組等でドローンによる撮影映像を見かける機会が多くなり、ドローン技術は災害での活用や商品宅配サービスでの利用など今後の発展が期待される。機械の専門として、ドローン技術に対して機械の視点から注目している技術や抱える課題を示すとともに、制御の視点との組み合わせなど異分野と融合することによる可能性を示す。加えて、専門としている流体研究のドローンへの応用を示す。 また、流体の中でも渦を専門に研究している。渦は騒音や抵抗の原因となることから悪者とされることも多い。しかし、最新の研究では、渦干渉の効果的な利用による抵抗低減や効率改善などの応用も見られ、これらの研究の紹介や流体分野での数値解析による最適設計の事例を紹介する。
大分大学 田上 公俊 【内燃機関における最新の燃焼技術と課題】	現在、内燃機関の熱効率向上を目的とした高圧縮比により、ノッキングや失火など様々な問題が生じている。ノッキングの回避は高効率化にとって特に重要な課題であるため、現在さまざまな研究がなされている。また、点火の強力化も高効率化のもう一つの重要な課題である。本講演ではこのような内燃機関の高効率化の現状と課題について紹介する。
大分県産業科学技術センター 池田 哲 【産学官連携での電気機器開発支援】	大分県産業科学技術センターは、平成25年度から電磁力応用技術センター（電磁力担当）を設置し、モータの高効率化に必要な磁気特性測定技術の研究開発に取り組むとともに、県内企業の電気機器開発を支援してきた。平成30年4月に先端技術イノベーションラボを開所し、地磁気の影響を受けない磁気シールドルームでは、金属加工後の微小残留磁化の測定が可能になり、これまで以上に多様な支援ができるようになった。 今回は、これまで県内企業と連携して取り組んできた電気機器の開発事例を交えながら、電気機器開発手法について、わかりやすく紹介する。

参加申込書

FAX》097-534-4320
大分県産学官連携推進会議事務局 宛

平成30年度 大分県産学官交流大会 平成30年度 第2回合同研究成果発表会
お申込締切日 11月9日（金）

会社名・団体名		連絡先	
		—	—
参加者氏名	所属・役職	講演会・事例発表	懇親会 (参加費：3,000円)
		参加・不参加	参加・不参加
		参加・不参加	参加・不参加

※ご記入いただきました個人情報、当該イベントの運営及び付随する産学官連携事業以外の目的には使用いたしません。

※懇親会参加費3,000円は、当日受付にてお支払をお願いいたします。

※懇親会参加のキャンセルは、準備の都合上 **11/16（金）** までに ご連絡ください。

<キャンセルの連絡先> 大分県産学官連携推進会議事務局（担当：亀山）

TEL：097-537-2424 E-Mail：san-gaku@columbus.or.jp